



グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2020-11（限定追加型） 運用状況と投資環境について

平素より「グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2020-11（限定追加型）」（以下、当ファンド）をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。各国の金利上昇や各通貨のヘッジコストの上昇等に伴い、当ファンドの基準価額は年初から軟調な推移となっております。ファンドの運用状況、投資環境および今後の見通しについてご説明します。

当ファンドの運用状況

当ファンドの基準価額（分配金再投資）は、2020年11月の設定当初から2021年の後半にかけては、金利や債券のスプレッド*が安定して推移したことや、相対的に高いインカムゲイン（利子収入）を享受したこと、ヘッジコストが低位で落ち着いて推移したことなどを背景に堅調な推移となり、一時10,200円台の後半まで上昇しました。2022年前半にかけては、欧米各国の物価上昇懸念により金利が上昇基調で推移したことに加えて、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う地政学リスクの高まり等を背景としたクレジット市場の全般的なスプレッド拡大により、ファンドで保有する債券が軟調に推移したことから、一時9,700円台まで下落する場面もありました。その後、基準価額（分配金再投資）は上昇に転じましたが、2022年8月末現在で9,896円と、10,000円を下回った水準となっております。当ファンドは、信用力が安定的なハイブリッド証券を満期償還日（または繰上償還可能日）まで持ち切ることを基本としていますが、これまでのところ信用力に大きな懸念の生じた銘柄はありません。

※スプレッド：国債との利回り格差。発行体の信用力に応じて拡張する傾向があり、信用力が高まると縮小（価格は上昇）し、信用力が下がると拡大（価格は下落）する。

基準価額（分配金再投資）の推移



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

欧米国債の利回り及びハイブリッド証券のスプレッド推移

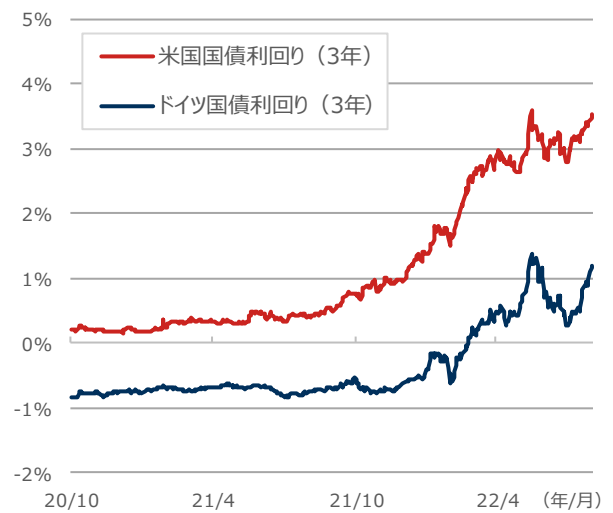
欧米国債の利回り推移

欧米の国債利回りは、コロナショック以降の超低金利政策継続やその緩やかな解除シナリオのもと、昨年後半までは概ね低位での推移が続いていました。その後、景気回復やサプライチェーンの停滞等による物価上昇を背景に、2022年初から上昇基調で推移しました。FRB（米連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）による利上げ実施や利上げ継続見通しにより、利回りは大きく上昇し、米国3年国債利回りは3%超、ドイツ3年国債利回りも1%を超える水準まで上昇しました。

ハイブリッド証券のスプレッド推移

ハイブリッド証券のスプレッドは、各中央銀行の超低金利政策やその後の景気回復期待等もあり、2021年末にかけては緩やかな縮小も見られるなど、概ね安定的に推移しました。しかし、2022年に入るとロシアのウクライナ侵攻に伴うリスク回避の動きや、インフレ懸念による金利急上昇と大幅利上げによる先行きの景気後退懸念等を背景とし、ハイ・イールド債市場や新興国債市場など他のクレジット市場と同様に拡大に転じました。特に、6月は各国債券利回りが一旦ピークを付けたこともあり、スプレッドも大きく拡大しました。7月以降は一時落ち着きを取り戻す場面もみられたものの、スプレッドは依然として高い水準となっています。

米国・ドイツ国債（3年）の利回り推移

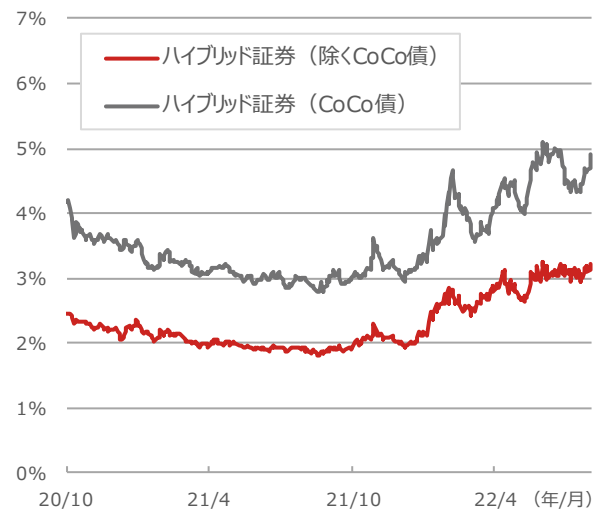


期間：2020年10月30日～2022年8月31日、日次

各国債利回りは、ブルームバーグジェネリク3年。

(出所) Bloombergを基に野村アセットマネジメント作成

ハイブリッド証券のスプレッド推移



期間：2020年10月30日～2022年8月31日、日次

使用した市場指数は、下記の「当資料で使用した指数について」をご参照ください。

(出所) Bloombergを基に野村アセットマネジメント作成

<当資料で使用した指数について>

ハイブリッド証券（除くCoCo債）：ICE BofA Global Hybrid Non-Financial Corporate Index

ハイブリッド証券（CoCo債）：ICE BofA Contingent Capital Index

<当資料で使用した指数の著作権等について>

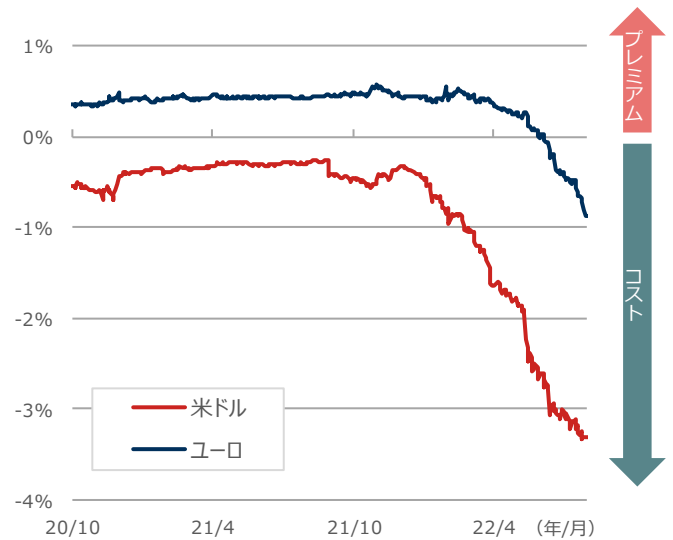
「ICE BofA Global Hybrid Non-Financial Corporate Index SM/®」、「ICE BofA Contingent Capital Index SM/®」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社（「ICEデータ」）の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。

為替ヘッジコスト/プレミアムの推移

為替ヘッジコスト/プレミアムは、コロナショック以降の各中央銀行の超低金利政策を背景として、2021年後半にかけては概ね0%近辺での推移が続き、特にユーロはヘッジプレミアムの水準が続きました。その後、欧米各国では政策金利が引き上げられてきた一方で、日本では超低金利政策が継続していることから、金利差の拡大を背景としたヘッジコストの上昇が続いています。今後の各国の利上げ幅は、物価動向により大きく左右されますが、利上げの継続により為替ヘッジコストは上昇していくことが見込まれます。ただし、来年の政策金利の方向性については見方が分かれており、不透明感が高い状況です。

為替ヘッジコスト/プレミアム（対円）の推移



期間：2020年10月30日～2022年8月31日、日次
各通貨のスポットレートと3か月フォワードレートから算出（年率換算値）
（出所）Bloombergを基に野村アセットマネジメント作成

今後の見通し

上述の通り、2022年初からの各国の物価上昇懸念と地政学リスクの高まりなどを背景とした金利上昇やスプレッド拡大は、7月に一旦反転も見られましたが、今後もその動向には注視が必要です。スプレッドはやや高い水準で推移していますが、各中央銀行の利上げ継続や、地政学的なリスクはある程度織り込まれてきていると見ています。一段の大きな地政学的な混乱や極端な景気後退懸念が生じない限りは、スプレッドは徐々に安定してくるものと想定されます。

当ファンドは、信用力が安定的なハイブリッド証券を満期償還日（または繰上償還可能日）まで持ち切ることを基本としていますが、これまでのところ信用力に大きな懸念の生じた銘柄はありません。

今後、FRBやECBが利上げを継続することが想定される中で、米ドルやユーロの為替ヘッジコストが徐々に上昇してくることが予想されますが、ポートフォリオ利回りの水準が大幅に上昇していることと、今後のクレジット市場は概ね安定してくると見込まれることから、基準価額は徐々に回復傾向で推移するものと見込まれます。また、ECBの利上げについてはFRBと比較すると相対的に小幅に留まると想定され、ファンド全体で見たヘッジコストの上昇は米ドルのみで投資する場合よりも抑えられると考えます。

今後とも「グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2020-11（限定追加型）」をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

「グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2020-11（限定追加型）」

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
- 世界各国の金融機関または事業会社等が発行する期限付劣後債、永久劣後債、優先証券、CoCo債等（「ハイブリッド証券」といいます。）および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とします。
 - ファンドにおけるハイブリッド証券とは ■
 - 劣後債

弁済順位が発行体の一般債務に劣後することとなる債券をいい、償還期限の定めがあるものを「期限付劣後債」、償還期限の定めがないものを「永久劣後債」とします。
 - 優先証券

弁済順位が劣後債に劣後し、普通株式に優先するものをいいます。
 - CoCo債（偶発転換社債）

金融機関が自己資本増強のために発行する転換社債の一種で、発行体が実質破綻状態にあると規制当局が判断した場合や、発行体の自己資本比率が基準値を下回るなど、偶発的な事象であらかじめ定められた条件に抵触した場合、元本の一部または全部が削減されたり、強制的に普通株式に転換される仕組みを有する証券をいいます。

※ CoCoとは、Contingent Convertibleの略で、「偶発的に転換される」という意味を表しています。
- ポートフォリオの構築にあたっては、ファンドの信託期間内に満期償還日または繰上償還可能日を迎えるハイブリッド証券の中から、利回り水準や信用力、残存期間等を考慮して投資対象銘柄の選定を行なうことを基本とします。
- 投資するハイブリッド証券は、取得時においてBB格相当以上の格付（格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。）を有するものとし、ポートフォリオ構築完了時点における組入銘柄の平均格付はBBB格相当以上とすることを基本とします。
 - ◆ 格付は、S&P、Moody'sおよびFitchのいずれかの格付が付与されている場合、最も高い方を基準とします。
- ハイブリッド証券への投資にあたっては、原則として購入した銘柄を持ち切る運用を基本とします。
- 投資したハイブリッド証券が償還された場合には、その償還金をもって、他のハイブリッド証券あるいは日本を含む先進国の公社債へ投資します。償還金をもって投資する公社債は、当ファンドの残存信託期間内に満期償還日あるいは繰上償還可能日を迎えるものとし、流動性や為替ヘッジコスト等を勘案して銘柄を選定します。投資する公社債は、取得時において、BBB格相当以上の格付（格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。）を有するものとします。なお、日本を含む先進国の国債については、格付に関わらず投資を行なえるものとします。
- CoCo債への投資割合は、ファンドの純資産総額の50%以内とすることを基本とします。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
- ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年11月の8日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

「グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2020-11（限定追加型）」

【投資リスク】

ファンドは、ハイブリッド証券および債券等に投資しますので、市場金利や発行体の信用度の変動によるハイブリッド証券および債券の価格下落等により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、ハイブリッド証券の流動性リスク、ハイブリッド証券の繰上償還に関するリスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2023年11月8日まで(2020年11月9日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則11月8日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 当該投資信託のお申込み期間は終了しました。
- ご購入単位 当該投資信託のお申込み期間は終了しました。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご換金のお申込みができません。
・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2022年9月現在)

◆ご購入時手数料	当該投資信託のお申込み期間は終了しました。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.924%(税抜年0.84%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.4%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に

応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会/
 一般社団法人日本投資顧問業協会/
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2020-11(限定追加型)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。